

目標をもつことの大切さ

小学四年 藤澤 遥乃

夏休みの始めに剣道の試合がありました。その日のために五月からいっしょうけんめいけい古にはげみました。団体戦の次ほうで出場して、私は勝てたけど、チームとしては負けてしまいました。あと一本という負け方でくやくして、くやくしてたまりませんでした。がんばった仲間をせめる事は出来ない。どこにもやり場がない気持ちに心がおしつぶされそうでした。勝ち進んでコートゆう勝が目標だったのに、あっけなく負けてしまいました。まだ試合が続いている日本武道館を後にする時、おほりのハスの花がきれいにさいていて、私はこんなにくやくして悲しい気持ちなのにハスの花はかわらずにさき続けている様子が心に残っています。私は帰たくして夕方になってもくやすい気持ちが消えず、いてもたってもいられなくなり、走る事にしました。マラソンを始めたのです。走りながら、強くなるためには何が必要なのかと考えました。すぐには思いつかなかったけど、きっとマラソンは試合中バテない体力作りに役立つはずと考え、夏休み中に百キロメートル走ろうと目標を決めました。百キロと聞いて、家族はそんなに走れるの？と心配しました。走ってみるとはじめ

はゆっくりしか走れなかったけれどだんだん続けて走れるようになりました。毎日五キロを目標にしました。暑い日はすぐつかれてしま
うし、走りたくてもお天気が悪くて走れない日もありました。くじけ
そうになった時もあったけど、夏休みの終わり八月二十八日に百キ
ロ達成しました。とてもうれしくて、じゆうじつした気分でした。い
つの間にか、くやしかった気持ちはどこかへ行ってしまう、あきらめ
ずにちよう戦すれば、達成できることが分かりました。これからも目
標を立ててそれに向かって努力することを続けていきたいです。そ
して、強い心と体を持ち、まわりへ感謝できる人、みんなからおうえ
んしてもらえる人になりたいです。